

磐城之民聲

發行所 北川秀雄
編輯兼發行印刷人 北川秀雄
發行所 福島縣平町南町七十八番地
廣告料 五號十二字詰 一回 五十錢
一部十錢 一ヶ月二十錢 送料五厘

五十九議會展望

今や第五十九議會は昨をの神聖なるべき議場をして越し此處もと平穩……霧社藩の演ずる以上の蠻行なる毎日を行つたある場と化せしめたか？やうである。然るに心なき者にはむしろ此の数日來の回の闘争である。現在政權失業状態にある政友會が失業の苦痛より以て戦ひ來れ、然らば吾又で演ずる悲劇……である。それが議會戰術變じて議院に對する所似なのである、負ふ限り既定の方針に邁進するのみである、繰返し謂ふ、吾は吾が敵を愛する者なものであるからであらう。芝居の好きな人は政治に寧ろ冷淡だといふ事になる、劇に對する趣味は文藝に對する趣味と方面を同うする。有する人にデスレリーや其他例外があつても多くの場合政治家は文藝に無頓着のやうである。

帝國の國民として最も關心すべき帝國議會事が平會闘争となつて國民の前に展開せる所似なのである、負ふ限り既定の方針に邁進するのみである、繰返し謂ふ、吾は吾が敵を愛する者なものであるからであらう。芝居の好きな人は政治に寧ろ冷淡だといふ事になる、劇に對する趣味は文藝に對する趣味と方面を同うする。有する人にデスレリーや其他例外があつても多くの場合政治家は文藝に無頓着のやうである。

然し情ない!!この言葉が兩様に通じてることを忘れてはならないのである、彼等を哀はれむ前に此の言葉を議事堂の一隅にも送らねばならぬのを遺憾とする。然らば再び問ふ、何が彼

認めぬのである。徒らに笛吹くとも誰れが是れに和し踊る者あらん、劇に對する趣味は文藝に對する趣味と方面を同うする。有する人にデスレリーや其他例外があつても多くの場合政治家は文藝に無頓着のやうである。

政治と趣味

高やうじ

芝居の好きな人は政治に寧ろ冷淡だといふ事になる、劇に對する趣味は文藝に對する趣味と方面を同うする。有する人にデスレリーや其他例外があつても多くの場合政治家は文藝に無頓着のやうである。

磐城平町南町七十八番地

民衆榮商事

主任理事 齊藤岳洞

仲介

營業種目

- 一、金銭貸借ノ仲介
- 一、貸金貸家地代ノ取立仲介
- 一、土地建物物品ノ賣買仲介
- 一、債權公債社債株式ノ賣買仲介
- 一、電話賣買及交換ノ仲介
- 一、商品ノ委託販賣
- 一、銀行會社家政ノ整理
- 一、不動産地價評定
- 一、爭議ノ和解示談仲介
- 一、人事上ノ仲介並ニ代理

上記の外諸般の
仲介業代理業一切
先づ試験的に之れを利用せられよ

乗合平、赤井間

若松自動車部

平町才榎小路
電話呼出し 壽司本
三五五一番

平町 仲町

増尾木工所

増尾甚市郎
電三四四番

自家製
クリーム 計り賣

田巻香油店

田巻榮一
平町二丁目
電話四一五番

第一生命代理店

岩澤民吉

植田町旭町

左官請負業

難病歓迎 効力絶大!!!

茲に最優最新式治療法の
發見を公開す
僅かの費用で簡易に諸病
を全治す

◎カイソネーチャ療法の特長
本療法は在來の療法と異り物理療法と藥物療法との長所を採りたる最も合理的のものにして多數患者に體驗の結果其効力の偉大なる實に驚くの外ありません、殊に本療法は他の療法に如く局部療法と異り全身療法なるが故に全體に保有する數種の病菌も同時に一掃する特長があります、例へば胃腸病と淋病と喘息とを併有する患者が本療法を行ふときは是等の諸病が同時に全治することが出來ます、現に東京本院に於て幾多體驗の結果此の種の諸病を初め十年二十年の難病で手足腰の不自由な患者も短時間で全治せしめた多數の實例に見るも眞に驚異的奇効があります

◎カイソネーチャの適應症
神經痛、リウマチス、關節炎、腦病、腦脊髓脊椎カリエス、中風、喘息、肋膜炎其他醫師や藥で効なき諸病の方は一度御來院御試下さい
●殊に精進増進に特効あり

特許中山式
カイソネーチャ療院
自午前八時
至午後九時

磐城分院

平町大町六番地
平警察署東へ約一丁

各位 吉田五平

昭和六年二月

四倉築港の完成を期し 舉町團結して起つ

新妻町長以下促進猛運動

本郡四倉町は濱三郡中最主要なる漁港にて大正六年より大正十四年間に現在の防波堤を完成せるも其後遂年大小漁船増加に伴ひ港灣狹隘を告げ先に築港期成同盟會を組織縣補助の出願なきに依り一昨年諮問案通過三ヶ年繼續事業として總工費四十五萬八千圓也、國庫補助二十二萬九千圓、縣補助十五萬九千圓地元七萬圓以上の協算を経しも全國各方面漁、商港修築出願方多い爲めに國庫修港豫算割當方十萬圓内に減じたる爲四倉築港問題も自然行惱みの状態に陥り一頓座を來せしが斯くて果つべきにあらずとなし四倉町長新妻盛氏を始め舉町團結一路之れが促進運動に猛進しつゝ、あが是れは地方問題のみならず延いては國家産業の盛衰にも關することにてその成行は各方面より極めて注目されつゝあると、因に同港は漁港としての設備は殆んど完全に近く陸上には四倉製氷會社、四倉造船所、鐵工場あり、販賣所としては共同販賣所、水産團體としては漁業組合、肥料製造組合、漁商組合、備船は動力船四十五、小形漁船舊臘二月九日、立發會式を舉げし石城民政院がい

比佐昌平代議士

豫算分科會「主査」に任命さる第六分科會を率ねて
名主査振を發揮
野黨委員猛者連の鋭鋒遂に空し

石城郡選出比佐昌平代議士じられたかの如く懸念され本議會に於ける豫算分科し波瀾もなく無事終了次回會中第六分科會(鐵道、遞の豫算委員長を以て目ざる信)の主査(委員長格)に任しに至りしが今回の各分科命されしがなに負ふ問題の會主査の顔振れを見ても解山積せる鐵道、遞信兩省に如く主査は次官若しくは關する豫算分科なるだけ野黨與官乃至は同格の代議士黨側委員中には否腕の島田任命さるゝが例にて比佐代(後)坂本土倉代議士等控え議士の任命は全く氏の今日其の一間一答は深甚の注意迄の努力漸く報はれしものを拂はれつゝありしが比佐とは言ひ遅き恨みにそあれ代議士の圖轉滑脱機宜を得當然の事にて同代議士の今た主査振りには流石野黨の後の活躍こそ期して待つべ猛者連も全く此の鋭鋒を封きものあらんと

新年宴會を兼て

石城民政第一回總會

民政黨俱樂部樓上に於て
部會幹部三十名
團員四十名出席

二月九日、立發會式を舉げし石城民政院がい

さんに比較する時は思ひ半に於ては去二月十七日(舊正月元旦)新年宴會を兼て其第一回總會を午後一時より俱樂部樓上に於て開催せしるが團員出席者四十名議題たる幹部制改正の件に從來の評議員制を改め前評議員は全部幹事となすと納幹部増員の件は團員齋藤惣太郎君を常任幹事に推薦することの二件を満場異議なく可決火とし頃の午後五時半より新年宴會に移るや民政部會よりは若松縣議、萩原幹事長他二十數氏、湯本比佐昌平先生後援會を代表して木村徳三郎氏好問民政同志會より森榮太郎氏出席定列筆者の開會の辭に次いで幹事長藤本一郎君の二ヶ月餘間の團務の報告あり續いで團長の挨拶、來賓代表として若松縣議の激勵の詞あり終つて祝宴に移り藝妓數名酒間を幹旋獻盃應酬甜なるや來賓團員各々獨特の十八番物に一座は時の過ぐるも忘れ暫し酔ひ且つ談じ興を盡して九時過ぎ盛會裡に散會せり

おでんと
江戸前小料理は
「電話六七九番」

杵壽しへ

平町三丁目横町
出前迅速!!!

和洋銅鐵金物問屋
餘屋大齋
電話 九九九番

河田鐵工所
河田梅吉
工場 平町白銀町
自宅 平町大町
電話三二九、七六二番

合津醫院
合津重雄
平町田町
電話五五九番

仙臺屋
關勝茂
平町長橋町
電話五四八番

常盤屋時計店
親切勉強修繕迅速
平町一丁目
電話三三九番

新築落成
平町四丁目
佐藤齒科醫院
佐藤武之
電話三四四番

最新流行。。。
合着見本多數参りました
御用命は!!!
トモエヤ洋服店へ
平町一丁目川岸通り

價低廉。。。
買ひ良イ店。。。
十錢屋陶器店
平町壹町目

辛黨のラダスイ。
三丁目横町
均一十錢
酒 一本十錢
肴 湯數肉 豆の腐子鍋 參五錢 錢錢

内郷村民一致蹴起 石炭の鐵道運賃値下陳情

成否は郡民の死活問題

比佐代議士若松縣議萩原幹事長
他有志、鐵相に陳情す
仁俠の人根本林平氏
他數氏の涙ぐまじき活躍

常磐炭田の中趨を爲す石城陳情書を江木鐵相に提出繼
郡に於ける各炭礦の盛衰は々苦境を陳述し同時に安達
關つて郡民全般の生活に影內相、民政黨櫻内幸雄氏を
響する裡に打續く經濟界訪問詳細に陳述して少な
不況に伴ふ炭價の低落と不らず當局者を動し歸郷せる
自然なる鐵道運賃の高價が仁俠のほとばしりは氏を
爲炭礦界は極端に疲弊し一日の安穩裡におかず直後
直接に石城人口の三分の二根本林平氏は單獨上京比佐
を占むる炭礦労働者の生活代議士と同行し安達内相秘
を脅威し全く悲惨見るに忍書官野中徹也氏に會見氏
びざるものあり延いては石誠意は漸く認める所となり
城全般の死活問題にて五大知事との折衝其の他適切な
炭礦を始め各炭礦にては鏡る方法を講ずることを申合
意之れが恢復に努力し或は是せて歸郷せるが今回の再
經營費の節約に炭價の協定に涉る當局への陳情は漸
に狂奔せるも如何せん鐵道具體化されんとしつゝあ
運賃は他の北海炭、九州炭より石城炭礦界も前途に一脈
の利用する海運賃と比較しの曙光を見出したると共に
て極めて高率にて従つて販石城郡將來の爲同慶に堪へ
路甚だしく侵蝕され有るものなり、去るにても
來の苦境に遭遇し此のまゝ人情紙よりも薄き今日利息
にては手を空うして常磐炭價の増進の爲め活躍せる民政
の滅亡を待つに等しき状態に増進の爲め活躍せる民政
に鑑み先に昨年五大炭礦及び比佐、若松、萩原諸氏、内
石城郡町村長聯合會にて當郷根本氏、湯本町長小泉氏
局に陳情せるが今般更に内他各町村代表者にして炭
郷村民三千七百四十四名調礦界は勿論郡民一同感謝と
印の上根本林平氏他數氏代表の目を以て迎へつゝあり
表となり若松縣會議員を陳
情委員長と爲し萩原民政部
會幹事長附添ひ他平町、湯
本町、植田町、四倉町、好
間村各有志二十數名上京比
佐代議士の斡旋にて左記の

ノ中心ニシテ二十万ノ
口十四万ノ炭礦労働者ヲ
有シ其ノ家族ヲ合算スレ
バ優ニ郡人口ノ大半ヲ占
メ農村漁村ト雖モ炭礦ノ
影響ヲ受ケザルモノナク
今ヤ炭礦ノ盛衰ハ直チニ
郡民ノ生活ヲ支配スルノ
状態ニ御座候
就中吾ガ内郷村ハ往時ハ
貧弱ナル一寒村ニ過ギザ
リシガ採炭業ノ勃興ト共
ニ膨張シテ人口ハ數十倍
シ現在ニ於テハ約三万人
ヲ數フルニ至リ候然ルニ
最近深刻ナル炭礦界ノ不
況ハ村民ノ生活ヲ脅威シ
或ハ炭礦休山等ノコトア
ルニハ非ズヤト憂慮シ人
心ヲシテ刻々不安ニ陥ラ
シメ居候
炭礦ノ休山ガ如何ニ地方
經濟界ヲ混亂セシメ居住
民ノ生活ヲ窮迫セシムル
カハ昨夏七月本郡磐崎村
所在、三井炭礦ノ休山ニ
依リテ或ハ閉店或ハ失業
ノ續出セル結果盜犯増加
シ遂ニ強盜犯ヲサヘ出シ
タル事例ニ鑑ミテ瞭カニ
御座候
萬々一吾ガ内郷村ノ炭礦
業ニ於テ休山等生ジタル
場合ハ厄大ナルニ比例シ
テ其ノ結果ノ悲惨ナルベ
キハ殆ンド直視シ得ザル
モノアルベク地方トシテ
ハ由々シキ社會問題ヲ惹
起スルニ非ザルカヲ憂ヘ
ザルヲ得ザル次第ニ御座
候炭礦苦境ノ原因ハ之ヲ
大別スレバ

ノ二ニ歸スベク候炭價ノ
低落ニ對シテハ各炭礦ト
モ拮据經營アラユル經費
ノ節約ヲ敢行シテコレニ
善處セント努メ居リ候ヘ
共鐵道運賃ハ近年著シク
低落セル海運賃ト對比ス
ルガ故ニ如何ニシテモ之
ニ對抗スルコトヲ得ズ常
磐各炭礦ヲシテ非常ナル
苦境ニ陥ラシメ居リ候石
炭ノ鐵道運賃高率ナル爲
メ鐵道運賃ノミ依ル常
磐石炭ハ海運ノ便ヲ有ス
ル九、北炭ノ販路侵出ノ
打撃ヲ受ケ途年出炭高ヲ
減ジ辛フジテ經營ヲ續ケ
居ル次第ニ御座候萬一休
山等ノコト實現致シ候ヘ
バ其ノ結果ノ重六ナルベ
キハ前述ノ如クニ有之候
何卒閣下ノ御仁政ニ依リ
コノ悲境ヨリ御救出賜ハ
リ社會問題ヲ未前ニ防遏
スルト共ニ三万村民ヲ御
救済下サレ度茲ニ實情ヲ
訴ヘ惻顧ニ及ブ次第ニ御
座候
昭和六年一月
鐵道大臣江木翼閣下
福島縣石城郡内郷村
根本林平 ①
同 佐藤吾一 ②
同 涌井恒昇 ③
猶右に相呼應し湯本町にて
町長小泉三代喜氏他有志
數十名起ち之れが運動貫徹
ハ由々シキ社會問題ヲ惹
起スルニ非ザルカヲ憂ヘ
ザルヲ得ザル次第ニ御座
候炭礦苦境ノ原因ハ之ヲ
大別スレバ

「石炭ノ鐵道運賃値下問
題ニ就テ」
昭和四年
三四、二五七、〇〇〇噸
昭和五年(豫想)
三四、〇〇〇、〇〇〇噸
常磐出炭高
大正十年
二、九二二、〇〇〇噸
昭和四年
二、八七九、〇〇〇噸
昭和五年(豫想)
二、五〇〇、〇〇〇噸
比 率
大正十年 一割一分一厘
昭和四年 八分四厘
昭和五年 七分
最近ニ於テハ低落セル船
舶便ニヨリ京濱地方ニ移
入サレタル石炭ハ更ニ京
濱ヨリ汽車積トシテ甲信
兩毛方面ニマデ送出サレ
テモ優ニ常磐炭ト競走シ
得ル實狀ニシテ漸時販路
ノ縮小セル常磐炭礦ハ今
後コノ状態ヲ繼續スルニ
於テハ立行カザルニ到ル
ベキヤ明カナリ
鐵道省モ收入減ニ苦シミ
ツ、アル今日減收覺悟ノ
運賃引下ゲハ相當苦痛ナ
ルベケレド常磐炭礦ヲ苦
境ヨリ救出スルニハ全般
的ノ石炭運賃引下ゲヲ必
要トセズ單ニ百五十軒以
上ノ遠距離輸送ノ運賃ヲ
引下ゲルコトニヨツテ足
リルナリ

今日ノ如ク一般物價ノ下
落セル時代ニ於テ石炭運
賃ガ依然トシテ戰時好況
時代ノ高率ヲ維持シツ、
アルコトハ甚ダシキ不合
理ニハ非ルカ又政府ガ鐵
道ヲ國有ニシタル目的ハ
單ニ利益ヲ上グルコトノ
ミガ至上ノ目的ニ非ザリ
シ管ナリ今ヤ鐵道運賃ノ
高率ナル爲一國ノ産業ガ
衰退シ或ハ破壊セラレン
トシツ、アルノミナラズ
一地方ノ經濟界及ビ住民
ノ生活上ニ一大混亂ヲ來
シ由々シキ社會問題ヲ惹
起セシトシツ、アル現狀
ニ鑑ミ國家ハ進んでコノ
産業ヲ保護シ住民ヲ救濟
スル爲ニ石炭ノ鐵道運賃
引下ゲヲ斷行シテ然ルベ
キニハ非ザルカ
全國石炭礦業聯合會及ビ
礦業會ハ常ニ急ラズ運賃
引下ゲ運動ヲ繼續シタレ
ドモ未ダ實効ヲ見ズ然モ
本問題ノ遷延ハ延イテ回
復スベカラザル地方ノ一
大損失タラントスル狀況
ニ鑑ミ到底默視スルコト
能ハズ郡民死活ノ大問題
ニシテ全郡各町村長各位
及ビ郡民有志各位ノ御盡
力ニヨリテコノ目的ノ達
成ヲ希望スル次第ナリ

昭和四年
三四、二五七、〇〇〇噸
昭和五年(豫想)
三四、〇〇〇、〇〇〇噸
常磐出炭高
大正十年
二、九二二、〇〇〇噸
昭和四年
二、八七九、〇〇〇噸
昭和五年(豫想)
二、五〇〇、〇〇〇噸
比 率
大正十年 一割一分一厘
昭和四年 八分四厘
昭和五年 七分
最近ニ於テハ低落セル船
舶便ニヨリ京濱地方ニ移
入サレタル石炭ハ更ニ京
濱ヨリ汽車積トシテ甲信
兩毛方面ニマデ送出サレ
テモ優ニ常磐炭ト競走シ
得ル實狀ニシテ漸時販路
ノ縮小セル常磐炭礦ハ今
後コノ状態ヲ繼續スルニ
於テハ立行カザルニ到ル
ベキヤ明カナリ
鐵道省モ收入減ニ苦シミ
ツ、アル今日減收覺悟ノ
運賃引下ゲハ相當苦痛ナ
ルベケレド常磐炭礦ヲ苦
境ヨリ救出スルニハ全般
的ノ石炭運賃引下ゲヲ必
要トセズ單ニ百五十軒以
上ノ遠距離輸送ノ運賃ヲ
引下ゲルコトニヨツテ足
リルナリ

外科專門
花柳科
木村外科醫院
村 淳
平町六丁目橋際
電話六〇九番

産業欄

葡萄苗植附より

葡萄酒に成る迄 (二)

平町仲町佐藤葡萄酒店
平町三丁目横町ヤマサバ
主佐藤武雄

先號にて棚仕立が當地に適し支柱を設け技の繁植に適
當すると申上げましたからする様縦横に針金を以てた
棚仕立の方法を申上げます
現在までは植附けてからはを糸を以て適當に詰り附け
二年目に棚に上げ三年目に之れで仕立方は済んだ譯で
少量を收穫得ましたが是れ有りませぬ、たなを造るに竹
を改良して植附けと同時に材を使用する事は害虫驅除
棚へ上げ初年より收穫を得に際し非常に困難で有りま
す
最も從來は植附けてから三する様に御す、め致します
年間は何作子依り収入を得 發芽と同時に消毒が必要
たもので有りますが之の間で有ります、之れは天候の
作は後年病菌の繁殖の一大よき時を見計らひ四斗式ボ
原因と成る事が多いため余 ルドー液を噴霧器にて撒布
程考へねば成りませぬ、植いたします、第二回目は落
附けの年より收穫を得る方花後に第三回目は葡萄果が
法の仕立は先づ苗木を二年色附き始めた頃に行ふを常
目に移植し充分肥料を施しとします天候不順等に原
苗畑の内に養成して置き 因して害虫の多き時は落花
定をして置き本畑に移植す 後三四回消毒を要する事も
る様にすれば宜しいのです 有ります、以上は初年の植
苗木を植附けるに當り最初附けより結果までを申上げ
場所は名に負ふ平町目貫の
伊關吳服店と西村屋薬店の
二月中に九尺四方位の間隔を以て丈で收穫後根廻りを
に深さ五六寸位穴を掘り元 直經三尺位の深さ三四寸位
肥として人糞尿の薄き物をの穴を掘り十月下旬に相當なる
少々施し置き三月上旬充分多量の燐酸分の多き肥料を
發育せる苗木を移植し傘状にします、第二回目より本町一丁目方面より大部
に定をなすのであります 春二月上旬追肥を施し三月
棚は木材又はコンクリート 上旬より技のせんに定に取掛
製の支柱を九尺置きに外廻り せんだは大体に於
り外面に斜めに立てて傘状に古枝をせんだする
主柱と支柱との間に強き針 ので有りますが紙上に書
金を張り其の間に必要に應 事は仲々困難で有り

ますから農事試験所へでも
参り御見學なされた方が宜
いと思ひます。
◆葡萄酒はどうか
して出来るか
葡萄果には皮面に天然酵母
が附着して有りますので只
葡萄果を採集し之を潰して
桶に入れて置けば天然酸酵
を起して三週間位にて葡ど
う液が出来るので有ります
が是れが仲々技術を要する
問題であります
偶々自家製の葡どう液を
風味して下さいなど云ふ
御方がありますすがたいい
は葡どう酒で無くして葡どう
酢であります、之れを滋養
品として砂糖などを混入し
て召上つて居らばは滋養所
が害に成る場合が多いと思
はれます、然らば如何にす
れば酢にならないで完全な
る品が出来るか以下次號で
委しく述べる事に致します

民聲漫談室

舊正月街頭
ナンセンス!

梵鐘、金燈籠、佛具専門
工藤源吉
平町七丁目

新 行 流
三井履物店
平町二丁目
電話一五六一番

轉車に打當るや「誰だつ」と
廻はすは、その勢の物凄
いこと、打當るは無心の自
轉車乃至空箱故に何んのと
もなからうが折悪く何處か
の子僧君勢よく自轉車を飛
ばして来たが「アッ」と言ふ
間もなく杖一つ手か足かに
打當るや殆んど泣かんばか
りの顔にて通り過ぎあとは
近寄る人もなく敵なしと見
てか、氣なもの、又も三
人組合つて田町方面へヨッ
タ酔つたの千鳥足……
酒は呑むべし百薬の長酒は
呑むべからず百毒の長……
……以て三一年舊正月のナ
ンセンス一幕終り……



平町白銀町
高橋商會
高橋龜松
電話六三八番

町會議員
坂本龜太郎
電話一一〇番

合資會社
常磐自動車會社
青田目信太郎

町會議員
小松章

町會議員
豐田丑松

村會議員
鷺休三

滋養豊富、食へテ美味シク炊エテ殖エル
絶対無砂搗胚芽米
平町仲町
山野邊利久米穀店
動力應用賃搗モ致シマス

平町で一番安く賣る店
牛豚肉 販賣 富久仙
電話(町南)六六四番

野木履物店
平町紺屋町(元警察署前通り)

萬洗張
小松本店
小松支店
平町仲町

『開業御披露』
小料理
天ぶら
よし傳
西洋料理
支那料理
カフェー
ポタン
平局裏
電話五七六番

なかや洋服店
平町二丁目
電話二〇三番